

週報

Rotary



世界に希望を生み出そう

継続と改革



例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南

住所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 黒岩久登

水と衛生月間

第 3368 回例会	No.31	2024. 03. 06	雨
点鐘・国歌・ロータリーソング	12 時 30 分	「君が代」 「奉仕の理想」	
ロータリーの目的	花盛和也 君		
例会行事	結婚・誕生者卓話		

会長時間

先週3月1日はビキニ事件の発生した日でした。ビキニ事件とは、1954年3月1日アメリカがマーシャル諸島のビキニ環礁で広島型原爆の1000倍の威力という水爆実験を行い、周辺で操業していた「第五福竜丸」など多くの漁船や強制移住させられた島民らが「死の灰」を浴びた事件です。この実験により、「第五福竜丸」の乗組員23人が被ばくし、無線長の久保山愛吉（40）さんが亡くなりました。日本社会にも衝撃を与え、原水爆禁止運動が広がる契機となりました。日本の遠洋漁船が付近に多数出漁中で、被害は延べ約1000隻とされています。今日は被ばくした遺族のお話をさせていただきます。

仕事で外に出ているか、家で一人暮を打っているか。高知市の下本節子さんが覚えている父は寡黙で、あまり会話をした記憶がない。父、大黒藤兵衛さんは、高知県室戸市のマグロ漁船「第七大丸」で無線士を務めていた。遠洋漁業のため、一度漁に出れば2か月ぐらいは戻らず、家にいることは少なかった。

漁船員としての生活は突然終わりを告げる。下本さんが小学生だった1960年、父は船を下り、室戸にある無線局に転職した。理由は何も聞かされなかったが、それでも母からは「家で聞いたことは外で話すな」と念を押され、子供心ながら漠然とした不安を感じた。

事のいきさつが分かったのは44年後の2004年、報道などがきっかけだった。54年3月、マーシャル諸島・ビキニ周辺で、父が乗っていた漁船が操業中、米国の水爆実験で被ばくしたことを初めて知った。父をよく知る母方の叔母に話を聞くと、「(大黒さんは)よく「自分はがんになるから、保険を掛けないかん」とおびえていた」と教えてくれた。父は60歳のころ、胃がんと診断され、胃の4分の3を摘出する手術を受けていた。晩年、胆管癌と診断され、02年3月、78歳でなくなった。遺品からは父の船員手帳も見つかった。手帳には、下船の理由について「病気のため」とだけ書かれていた。下本さんは「被ばくとの関係は不明だが、父は船を下りるころには乱視や歯槽膿漏などを抱えていたと母らから聞いた」と明かす。

高知の元船員や下本さんを含む遺族ら45人は16年、国家賠償を求めて提訴した。ビキニ水爆実験をめぐる、静岡県のマグロ漁船「第五福竜丸」以外の被ばく実態は、国が14年に延べ556隻の被ばく検査記録を開示するまで明らかにされず、救済の機会が奪われたなどと主張した。請求は棄却されたが、判決では、元船員らの被ばくを認め、国会や政府に救済を検討するよう促した。元船員らは20年、救済などを求める新たな訴訟を起し、下本さんは原告団長を務めている。「国は船員たちが受けた被害をなかったことにして事態を矮小化しようとした。それが今も続いている」と批判する。

水爆実験から70年を迎えた3月1日、マーシャル諸島の首都マジュロでは、被ばくした島民らが参加して追悼式典が開かれた。下本さんは今回、原水爆禁止日本協議会(原水協)から打診を受け式典に初めて出席した。スピーチの機会も設けられ、元船員たちの思いや被害者の救済、核の危険性を訴えた。下本さんは「今回、マーシャル諸島のことを学び、現地の人たちも被ばくで大変な思いをしていることを初めて詳しく知った。思いを共有し、交流を続けたい」と願う。

また「ビキニ事件」70年を前に静岡市で28日、シンポジウムが開かれ約200人が来場した。アメリカの歴史を研究する奈良大学の高橋教授は核兵器禁止条約の重要性に触れ「世界中の人が安心して住めるという発想で、核廃絶を求めることが必要」と指摘した。高橋氏は1954年3月1日、ビキニ環礁の水爆「ブラボー」など

の実験で、米国が放射性降下物関連のデータを隠したと問題視。入手した米国の資料に、現地を調べたアメリカの研究者が「汚染された環境で生活する際に、人間が取り込む放射性物質の量を測定する事は非常に興味深い」と発言するなど人種差別的な記載があったと紹介した。

幹事報告

1. 日本事務局より、1月のロータリーレートのお知らせが届いております。
 - ・ 今月のレートは、1\$ = 151円（前月のレートは、1\$ = 147円）
2. 例会行事の変更についてお知らせ致します。

3月27日は観桜会となっておりますが、4月3日に予定しておりましたゲスト卓話がゲスト(西島会員の父上)の日程調整が不調となり、止む無く日程を変更することと致しましたのでよろしくお願い致します。

つきましては、3月27日を通常例会(昼間)とし、例会行事をゲスト卓話といたします。また、4月3日を観桜会とし、夜間例会といたします。
3. 一般財団法人 比国育英会バギオ基金より、「バギオだより 2024年3月号」が届いております。

委員会報告

わかば奨学会 地区補助金審査会承認額870,345円の件
70周年実行委員会 式典リハーサルの件・・5月を予定
親睦委員会 結婚 鬼束忠男君(1975) 渡邊眞一郎君(1991) 小玉 淳君(1967) 河野通郎君(1978)
宮田健司君(1991)
誕生 落丸正博君(1948)

例会行事

結婚・誕生者卓話

鬼束忠男君(結婚)



「共に過ごした、幾年月の、よろこび悲しみ、目に浮かぶ、目に浮かぶ」若山彰が歌った映画「喜びも悲しみも幾年月」

3月2日に49年の結婚記念日を迎えることができました。来年が50周年、金婚式を迎えるよう願っています。

共に過ごした49年、山あり谷ありでした。語りつくせないことがたくさんあります。

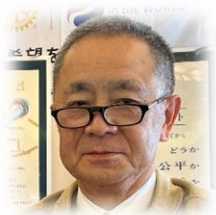
人生には、晴天の日もあれば、嵐の時もある。時間の使い方には、さまざまあるが、飽くなき向上心で主体的に行動する時「瞬間」に無限の「価値」が生れる。とにかく、これから健康に過ごしていけたらと思っています。

人生は、健康競争、オシッコに敬礼、ウンコに感謝、食べ物、体の中を旅しながら、体の信号を満喫したオシッコやウンコとなって健康についての大切な情報をしらせてくれます。今日も出てきてくれた、あなたのオシッコやウンコに感謝しながら、あなた自身の健康をウォッチングしましょう。

オシッコ、白く濁るのは腎臓系の信号・赤いのは尿道や、ぼうこう、腎臓系の信号黄色いのは胆のうや肝臓系の信号・無色透明は健康体の信号。

ウンコ、水に浮くのはスタミナ不足・悪臭を放つのは肉食、過食、胃腸障害等の疑い。生臭くて黒いのは、出血の疑い。・においが無いのも異常黄色く半練状は油分の摂り過ぎ。灰白色でバナナ場は黄疸です。白いは肝臓、すい臓、胆のう系で危険です。黒い泥状は、ガンの疑い。・短期的下痢は飲みすぎ、食べすぎ、寝冷えなど。慢性下痢はあらゆる病気の原因が考えられます。水不足、運動不足、繊維不足でも便秘は起こります。黄褐色で太く、ソーセージ状に連なっているのは健康の証明。ウン勢も上向きです。あなたのウン命に幸あらんことを。

河野通郎君(結婚)



3月30日で46年目の結婚記念日になります。色々なことが有りましたが元気で生きてこれたのは、妻のおかげと感謝しています。

先週の3月1日に鼠径ヘルニア手術を県病院で受けました。その為先週の週報を発行する事が出来なかった事をお詫び申し上げます。

入院してつくづく思ったのは、家はいいな一と言う事です。母さんいつも有難うそれだけです。



宮田健司君 (結婚)

39 回目の結婚のお祝いをいただきありがとうございます。

今日は、発電の中でも風力発電についてお話させていただきます。

浮体式洋上風力発電は、新しい発電方法として注目されており、世界的にも多くの国で研究と実証が進められています。

浮体式とは浮体式洋上風力発電は、洋上（海の上）に浮体を設置し、その上に風車を乗せて発電する形式です。洋上風力発電には「着床式」と「浮体式」の2つのタイプがあります。

着床式洋上風力発電:海底に支持構造物を設置し、風車を固定して発電する形式。浅い海域ではコストが低いですが、海中の生物や漁業への影響が懸念される。

浮体式洋上風力発電:海底に係留した浮体の上に風車を設置する形式。深い海域でも設置が可能で、海底環境への影響が小さい。

浮体式洋上風力の種類

バージ型:円柱型の浮体を垂らしたチェーンやワイヤーロープで係留する方法。浅い海域でも設置可能。

TLP 型:浮体と海底を緊張係留で結び、浮体を半潜水させる方法。浮体の揺れを保持するための緊張係留ラインを使用。

セミサブ型:浮体を完全に海中に沈め、浮体上に発電設備を設ける方法。安定した運用が可能。

スパー型:円柱状の浮体の上に発電設備を設ける方法。深い海域での導入に適している。

浮体式洋上風力の課題

安全性と耐久性:台風や波、地震などの災害に対する耐性が必要。技術面やコスト面で改善が求められる。海象条件への対応:風や波、海潮流、水位などの海象条件に配慮する必要がある。

コスト削減:浮体式洋上風力のコストを低減するための技術開発が進められています。

基地港湾の整備:風車の大型化に伴う設備の運搬や保管に適した基地港湾が必要。

エネルギー政策研究会発行のEPREPORT3月号に「各国開発急ぐ浮体式洋上風力」地理条件類似する日本にとっての先行事例 という見出しがありましたのでご紹介したいと思います。

世界の洋上風力発電設備は2023年単年で1200万KW(昨年比32%増)、35年単年では5300万KWの新規導入が見込まれており、牽引役は中国本土、イギリス、アメリカなどである。浮体式は現時点で技術的に開発途上ではあるものの、水深100m以上でも設置できるため、着床式の適地の少ないイギリス、韓国、日本において潜在的な需要は大きい。

昨年10月に発表された、世界の浮体式プロジェクトに関する最新レポートによると、現在稼働する浮体式は7か国14プロジェクト計22万7000KWにすぎないが、各国で多くのプロジェクトが開発、計画されており、初期段階まで含めると世界で285プロジェクト計2億4400万KWに上るといふ。その約3分の2に当たる1億6000万KWは、ヨーロッパの海域で計画されており、国別ではイタリアが4000万KWで最も多く、イギリスの3500万KW、アイルランドの3100万KWがこれに続いている。イギリスは現在、中国に次ぐ世界第二の洋上風力市場である。

地理的条件の類似するわが国の先行事例でもあり、イギリスの浮体式が制度や技術面で今後どのように発展していくのか、注視すべき存在だ。と述べている。日本では、洋上風力発電の導入を進めるために着実な取り組みが行われており、今後の展望に期待が寄せられています

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今週	30	7 (4)	26	18	0	8	18	69.23%
出席免除	落丸、小玉、清水、渡邊							
先取MU								
欠席	石灘、甲斐、斉藤 (篤)、齋藤 (奈々)、西島、日高、古澤、村社							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長:黒岩久登 副会長:築瀬 敦 幹事:井野畑善順 雑誌会報広報委員長:河野通郎

雑誌会報広報委員会より

原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。